

授業科目名	健康運動学特殊研究演習		授業形態	演習	授業科目区分	専門科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	竹島 伸生				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	—	受け入れ人数	—
授業の概要 及び達成目標	ヒトは様々な環境の中でダイナミックに適応し、心身の調整を図り、生命を維持している。現代社会は高齢人口の増加とともに同時にライフスパンが長くなり、いかに長年に健康や機能を維持するかという大きな課題がある。加齢や非活動的なライフスタイルは心身の状態に大きくマイナスに作用するとみられているが、身体に対する内外の環境による変化や影響を理解するとともに長年にダイナミックに適応して高い機能を維持する上で運動やスポーツがその手段として利用できることが期待されている。関連する先行研究を学び、課題や問題点を認識するとともに新しい研究方法や体育学研究に関連する測定分析法を学ぶ。					
成績評価の方法	□学期末試験の成績（ %） ■出席状況（40%） ■授業への取り組み状況（40%） ■レポート等の提出状況（20%） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	学習内容のプレゼンテーションとディスカッションを重視する。					
テキスト、教材 参 考 書	適宜必要に応じて配布又は指示する					
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー						
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	竹島 伸生	オリエンテーション				
2	〃	不活動に伴う身体の変化－文献抄読と討論				
3	〃	加齢による機能の変化－文献抄読と討論				
4	〃	生理機能、身体活動量の季節変動－文献抄読と討論				
5	〃	老化に関する文献抄読と討論				
6	〃	ExerciseとPhysical activity－文献抄読と討論				
7	〃	身体運動による生理的効果－文献抄読と討論				
8	〃	身体運動による生理的効果－文献抄読と討論				
9	〃	高齢競技者の体力水準と運動効果－文献抄読と討論				
10	〃	地域型運動の有効性－文献抄読と討論				
11	〃	虚弱者支援のための運動方法－文献抄読と討論				
12	〃	Physical Activity向上のための工夫-文献抄読と討論				
13	〃	光学センサーを使った健康づくり－文献抄読と討論				
14	〃	転倒予防を目指す運動－文献抄読と討論				
15	〃	単一運動と複合運動－文献抄読と討論				
16	〃	期末試験は行わない				